

教員目標設定支援システム 操作マニュアル

改訂履歴

VER.	内容	日付
1.0	初版	2023/12/22
1.1	<ul style="list-style-type: none">・ ユーザ設定画面に管理者向けの補足事項を追記・ 異動画面に補足事項を追記（異動先の管理者の設定）・ 誤記修正	2023/12/26

目次

目次	3
1 目的・概要	4
2 利用者.....	4
3 用語定義.....	4
4 メールアカウント認証.....	5
5 ログイン画面.....	6
6 パスワード変更方法.....	7
7 画面遷移図	10
8. 各画面：基本操作	11
8.1. 各画面共通.....	11
8.2. アンケート画面.....	12
8.3. 対話前目標設定画面	14
8.4. 対話後目標設定画面	15
8.5. 実践内容画面	16
8.6. 担当教員一覧画面（管理者向け）	17
8.7. アンケート画面（管理者向け）	18
8.8. 対話前目標設定画面（管理者向け）	19
8.9. 対話後目標設定画面（管理者向け）	21
8.10. 実践内容画面（管理者向け）	22
8.11. 異動画面.....	23
8.12. ユーザ設定画面.....	24
8.13. ログアウト.....	25

1 目的・概要

本書は、教員目標設定支援システムの基本的な操作方法を示す操作マニュアルです。

同システムは、教員の経験年数や校務分掌などで想定される育成指標を基に、習得面や実践面について自己評価を行い、分析結果に基づいた目標設定を支援するためのシステムです。

2 利用者

- 学校長等の教員の管理者
- 教員

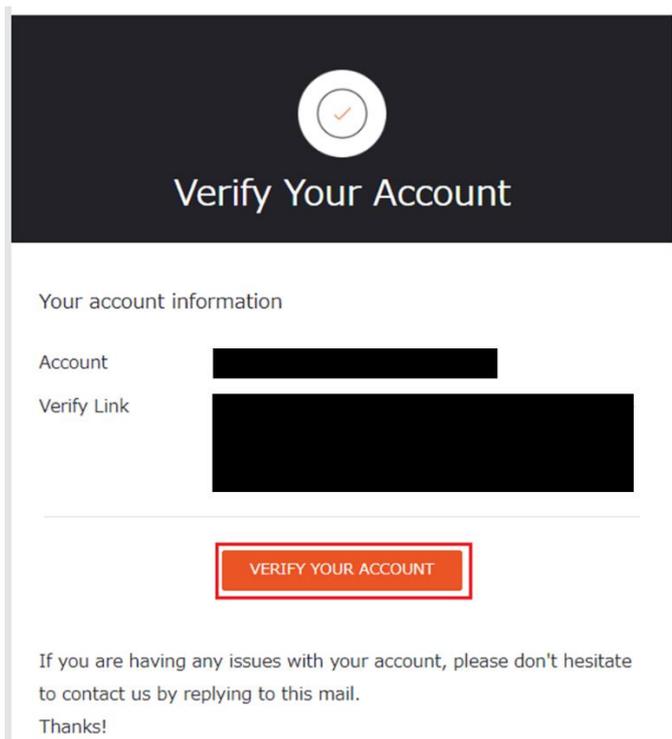
3 用語定義

本システムで使用する用語一覧です。

名称	概要
管理者	学校長等、教員を管理する立場にある方
教員	教員の方

管理者のみが、表示される画面や操作可能な機能があります。

4 メールアカウント認証



システム担当者がユーザ登録作業を実施すると、ユーザのメールアドレスに、タイトルが「Verify your email」で、本文が上図のメールが届きますので、本文内の「VERIFY YOUT ACCOUNT」ボタンを押下してください。

5 ログイン画面

①

ようこそ
教員目標設定支援システム

メールアドレス

②

パスワード

パスワードをお忘れですか?

続ける

画面概要

メールアドレスとパスワードで、本システムにログインできます。

また、パスワードの変更ができます。

操作説明

- ① [メールアドレス] と [パスワード] を入力して、[続ける] ボタンを押下することで、本システムにログインできます。
- ② パスワードを変更する場合は、[パスワードをお忘れですか?] ボタンを押下します。本システムを最初に利用する場合は、パスワードを変更してください。

6 パスワード変更方法

パスワードをお忘れですか？

メールアドレスを入力してください。パスワードのリセットに必要な手順が送信されます。

メールアドレス

① 続ける

[tks-teacher-objective-prod-app に戻る](#)

メールを確認してください

パスワードのリセットに必要な手順の送信先メールアドレス masafumi.hara@arithmer.co.jp を確認してください。

メールの再送信

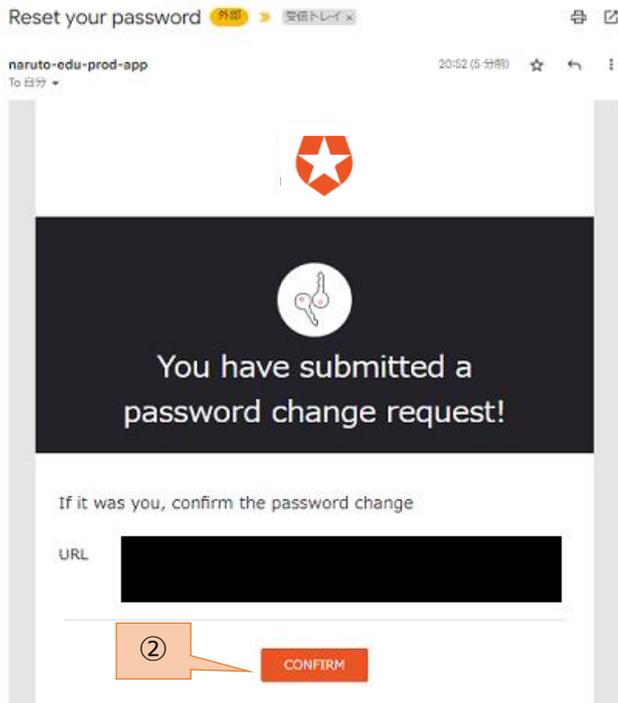
ログイン画面で [パスワードをお忘れですか？] ボタンを押下すると、左の画面が表示されます。

① [メールアドレス] を入力して、[続ける] ボタンを押下します。

右の画面が表示されますが、特に [メールの再送信] ボタンを押下する必要はありません。

5分程待つと、メールが届きます。(メールタイトル「Reset your password」)

※メールが届かない場合に、[メールの再送信] ボタンを押下してください。



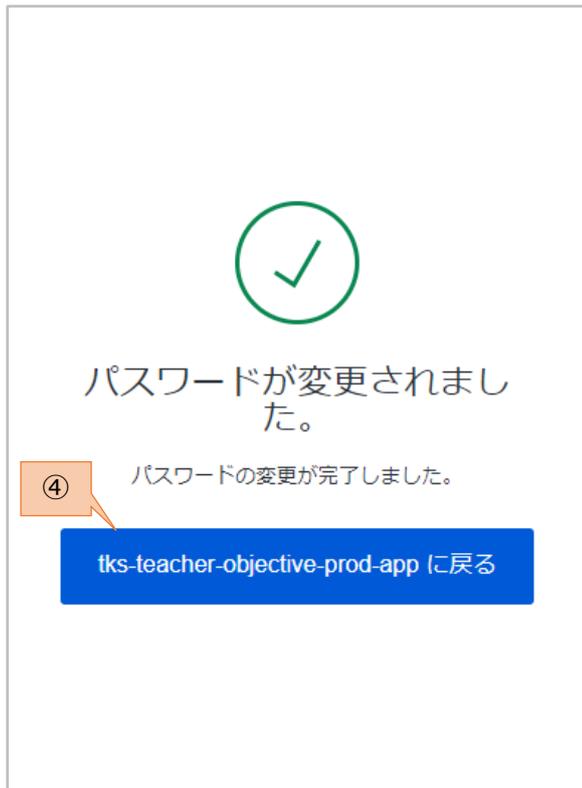
② メール本文内の [CONFIRM] ボタンを押下します。

右の画面が表示されます。



③ 新しいパスワードを入力して、[パスワードのリセット] ボタンを押下します。

※パスワードは、大小英数字や数字、記号を組み合わせる必要があります。

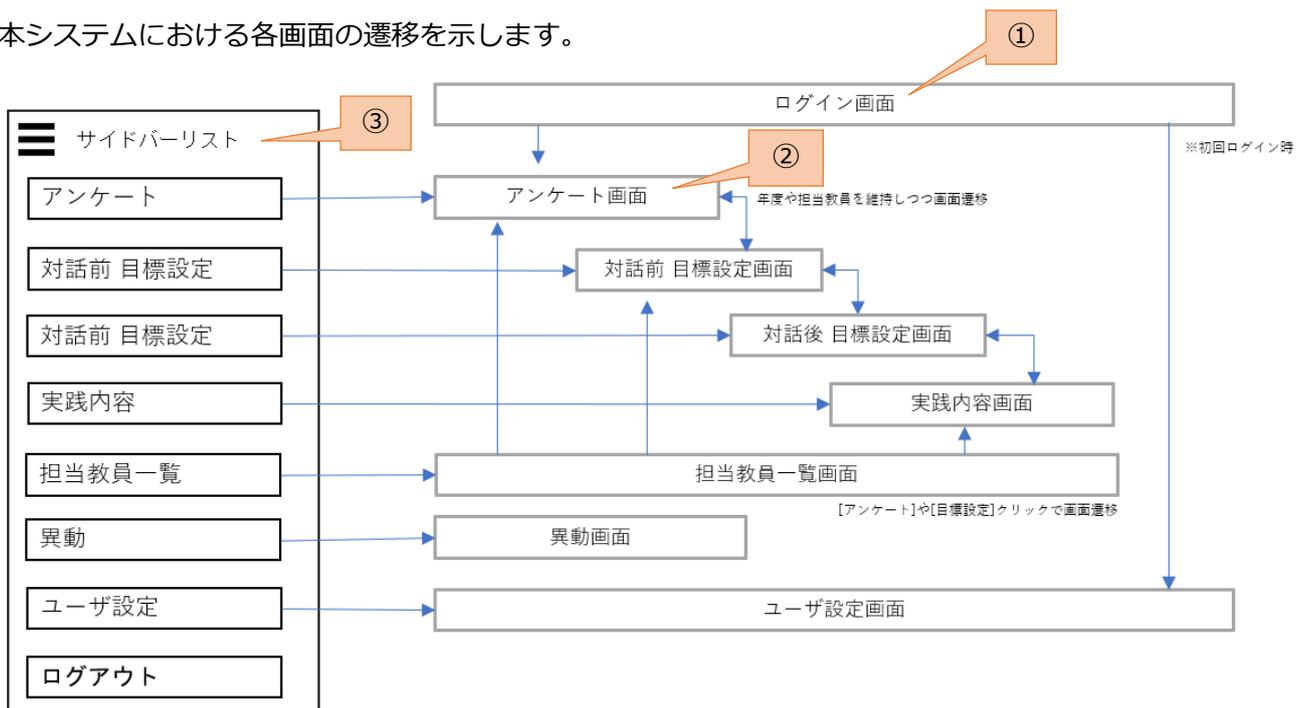


パスワードが変更できました。

④ アプリに戻るためのボタンを押下します。

7 画面遷移図

本システムにおける各画面の遷移を示します。



- ① システムにアクセスするとログイン画面が表示されます。
- ② ログインに成功するとアンケート画面が表示されます。
ただし、初回ログイン時はユーザ設定画面が表示されますので、
校種やキャリアステージ等を設定します。
- ③ サイドバーには、各画面に遷移するためのメニューリストが表示されます。

サイドバーから各画面に遷移した場合、ログイン日の年度の内容が表示されます。
各画面内のリンクから別画面に遷移した場合は、遷移前画面の年度が維持されます。

8. 各画面：基本操作

8.1. 各画面共通

②

①

Arithmer 教員目標設定支援システム 鳴門 太郎

アンケート 対話前 目標設定 >>

年度 2022

実践状況 とてもあてはまる

習得状況 とてもあてはまる

■ 授業力・学習指導 ● 担任力・生徒指導 ★ 特別な配慮・支援 ◆ ICTの利活用

② 5段階で評価してください。
1:まったくあてはまらない/2:あまりあてはまらない/3:どちらともいえない/4:ややあてはまる/5:とてもあてはまる

資質・能力	アンケート(習得状況)	アンケート(実践状況)
【授業力・学習指導】 カリキュラム・マネジメント力	○地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整することができる <input type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	○地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整するために必要な知識・技能を習得している <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
【授業力・学習指導】 カリキュラム・マネジメント力	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開することができる <input type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開するために必要な知識・技能を習得している <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
【授業力・学習指導】 授業構想力	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につながる助言することができる <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につながる助言するために必要な知識・技能を習得している <input type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5

① 各画面上部にはヘッダが表示され、ヘッダ右側にはログインユーザの氏名が表示されます。

② ヘッダ左側のボタンをクリックするとサイドバーが表示され、サイドバーには各画面への遷移メニューが表示されます。

TAB キー押下でメニューの切替ができ、ESC キー押下でサイドバーを閉じられます。

8.2. アンケート画面

≡ 教員目標設定支援システム 鳴門 太郎

アンケート 対話前目標設定 >>

年度 2022 ①

実践状況 とてもあてはまる

習得状況 とてもあてはまる

■ 授業力・学習指導 ● 担任力・生徒指導 ★ 特別な配慮・支援 ◆ ICTの利活用

③

② 5段階で評価してください。
1:まったくあてはまらない/2:あまりあてはまらない/3:どちらともいえない/4:ややあてはまる/5:とてもあてはまる

資質・能力	アンケート(習得状況)	アンケート(実践状況)
【授業力・学習指導】 カリキュラム・マネジメント力	○地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整することができる <input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	○地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整するために必要な知識・技能を習得している <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
【授業力・学習指導】 カリキュラム・マネジメント力	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開することができる <input type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開するために必要な知識・技能を習得している <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
【授業力・学習指導】 授業構想力	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につながる助言することができる <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につながる助言するために必要な知識・技能を習得している <input type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
【ICTの利活用】 ICTを学習指導に利活用する力	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの向上についての研究に努め、助言をすることができる <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの向上についての研究に努め、助言するために必要な知識・技能を習得している <input type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
【ICTの利活用】 ICTを学習指導に利活用する力	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効果的な利活用について教職員に提案することができる <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効果的な利活用について教職員に提案するために必要な知識・技能を習得している <input type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5

保存 ④

画面概要

教員の校種やキャリアステージに応じた育成指標（アンケート文）が表示され

習得面や実践面について自己評価を行うことができます。

自己評価の結果は、各資質・能力毎の平均値がグラフに表示されます。

操作説明

- ① 目標設定の対象年度を選択することができます。
年度を変更すると、過去の自己評価を確認することができます。
- ② 各資質・能力毎について、習得状況や実践状況の自己評価をつけることができます。
- ③ 自己評価の結果がグラフに表示されます。

- ④ [保存] ボタンで、自己評価結果を保存することができます。
- ⑤ [対話前 目標設定] のリンクをクリックすると、対話前目標設定画面に遷移します。

8.3. 対話前目標設定画面

≡ 教員目標設定支援システム 鳴門 太郎

<< アンケート (4) 対話前 目標設定 (5) 対話後 目標設定 >>

年度 2022 (1)

目標設定 (2)

生徒の興味を引きつける魅力的な学習環境を構築し、主体的な学びを促進する。
柔軟かつ革新的な授業計画を展開して、異なる学習スタイルに適應する。

(3) 保存

70/1000

画面概要

教員の目標設定を作成することができます。

操作説明

- ① 目標設定の対象年度を選択することができます。
年度を変更すると、過去の目標設定を確認することができます。
- ② 目標設定の内容を記入します。
- ③ [保存] ボタンで、目標設定の内容を保存することができます。
- ④ [アンケート] のリンクをクリックすると、アンケート画面に遷移します。
- ⑤ [対話後 目標設定] のリンクをクリックすると、対話後目標設定画面に遷移します。

8.4. 対話後目標設定画面

画面概要

管理者との面談(対話)後に実施した目標設定を作成したり、その満足度を設定したりすることができます。

操作説明

- ① 目標設定の対象年度を選択することができます。
年度を変更すると、過去の目標設定を確認することができます。
- ② 対話前目標設定画面で設定した内容が表示されます。編集できません。
- ③ 対話後の目標設定の内容を記入します。
- ④ 対話後の満足度を設定します。
- ⑤ [保存] ボタンで、目標設定の内容を保存することができます。
- ⑥ [対話前 目標設定] のリンクをクリックすると、対話前目標設定画面に遷移します。
- ⑦ [実践内容] のリンクをクリックすると、実践内容画面に遷移します。

8.5. 実践内容画面

≡ 教員目標設定支援システム 鳴門 太郎

<< [対話後 目標設定](#) 実践内容

年度

実践内容

生徒の興味を引きつける魅力的な学習環境を構築し、主体的な学びを促進することができたと思うが、生徒個別のニーズに応じたサポートがまだ不十分と感じる。

実践満足度 とても満足している やや満足している どちらともいえない あまり満足していない まったく満足していない

画面概要

目標設定に対しての実践内容を作成したり、その満足度を設定したりすることができます。

操作説明

- ① 目標設定の対象年度を選択することができます。
年度を変更すると、過去の実践内容を確認することができます。
- ② 実践内容を記入します。
- ③ 実践結果の満足度を設定します。
- ④ [保存] ボタンで、実践内容を保存することができます。
- ⑤ [対話後 目標設定] のリンクをクリックすると、対話後目標設定画面に遷移します。

8.6. 担当教員一覧画面（管理者向け）

① 年度 2022

② 氏名 空白区切りで複数指定できます

③ 検索

④ クリア

氏名	着任年度	キャリアステージ	⑤ アンケート	目標設定	実践内容
鳴門 次郎	1999	熟達期	記入済み	記入済み	記入済み
鳴門 三郎	2000	熟達期	記入済み	記入済み	記入済み
鳴門 四郎	1996	基盤形成期	記入済み	記入済み	記入済み
鳴門 五郎	1996	伸長・充実期	記入済み	記入済み	記入済み
徳島 一郎	1998	熟達期	記入済み	記入済み	記入済み
徳島 二郎	2007	熟達期	記入済み	記入済み	記入済み
徳島 花子	1995	基盤形成期	記入済み	記入済み	記入済み
徳島 三郎	2002	伸長・充実期	記入済み	記入済み	記入済み

⑥ ページ毎の件数 10 1-10 of 16

画面概要

担当教員の一覧が表示されます。

また、担当教員のアンケートや目標設定、実践内容の記入状況が確認でき、リンクをクリックすることで、各画面に遷移することができます。

操作説明

- ① 目標設定の対象年度を選択することができます。
年度を変更すると、過去の実践内容を確認することができます。
- ② 検索条件を入力選択することができます。
[氏名] は自由入力で、空白で区切ることで複数指定できます。
※部分一致検索で、複数指定時は OR 検索となります。
- ③ [検索] ボタンを押下すると、入力した検索条件で、教員一覧を絞込検索することができます。
- ④ [クリア] ボタンを押下すると、検索条件をクリアすることができます。
- ⑤ [アンケート] のリンクをクリックすると、当該教員のアンケート画面に遷移します。
[目標設定] や [実践内容] のリンクも同様です。
- ⑥ ページ毎の件数として [10/25/50] のいずれかが選択でき、その件数分の記録が表示されます。
当該記録数が [ページ毎の件数] を越えている場合、次ページや前ページに遷移できます。

8.7. アンケート画面（管理者向け）

≡ 教員目標設定支援システム 鳴門 太郎

アンケート(担当教員:鳴門 花子) ⑦ 対話前 目標設定 >>

年度 2022 ①

鳴門 花子

	実践状況	とてもあてはまる	
		★	
			◆
		●	
			■
			◆
			●
			★
			◆

管理者

	実践状況	とてもあてはまる	
		★	
		●	
		■	
		◆	
		●	
		★	
		◆	

■ 授業力・学習指導 ● 担任力・生徒指導 ★ 特別支援の充実 ◆ ICTの利活用

⑤ 5段階で評価してください。
1:まったくあてはまらない/2:あまりあてはまらない/3:どちらともいえない/4:ややあてはまる/5:とてもあてはまる

資質・能力	アンケート(習得状況) ④	アンケート(実践状況) ⑤
【授業力・学習指導】 カリキュラム・マネジメント 力	○ 学校教育目標を踏まえつつ、幼児児童生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用することができる ○ 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○ 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5	○ 学校教育目標を踏まえつつ、幼児児童生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用するために必要な知識・技能を修得している ○ 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ● 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5
【授業力・学習指導】 授業構想力	○ アセスメントや客観的な根拠に基づいた幼児児童生徒の個別の指導計画や年間指導計画に沿って、ICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた日々の保育・授業(以下、授業と表記。)を構想することができる ○ 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○ 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5	○ アセスメントや客観的な根拠に基づいた幼児児童生徒の個別の指導計画や年間指導計画に沿って、ICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた日々の保育・授業(以下、授業と表記。)を構想するために必要な知識・技能を修得している ○ 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○ 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5

⑥ 保存

画面概要

担当教員一覧画面でアンケート列のリンクをクリックしたときに表示されます。

担当教員の自己評価の確認だけでなく、管理者視点での評価が設定できます。

操作説明

- ① 目標設定の対象年度を選択することができます。
年度を変更すると、過去の実践内容を確認することができます。
- ② 担当教員の自己評価結果のグラフが、画面左側に表示されます。
- ③ 管理者視点での評価結果のグラフが、画面右側に表示されます。
- ④ 担当教員の自己評価の結果を確認することができます。編集はできません。
- ⑤ 管理者視点での評価結果を入力することができます。
- ⑥ [保存] ボタンで、自己評価結果を保存することができます。
- ⑦ [対話前 目標設定] のリンクをクリックすると、対話前目標設定画面に遷移します。

8.8. 対話前目標設定画面（管理者向け）

≡ 教員目標設定支援システム
鳴門 太郎

<< アンケート ⑤
対話前 目標設定(担当教員:徳島 花子)
対話後 目標設定 >> ⑥

年度 2022 ①

目標設定

Objective Text 1-639

20/1000

②

目標設定(レコメンド)

(1) 対話:とても満足している / 実践:やや満足している (関連度:25.1%)

対話前 目標設定

③ 最新の情報を統合し、教科内容を深化。異文化理解を育み、国際的な視野を広げる教育を実践する。

(2) 対話:とても満足している / 実践:やや満足している (関連度:15.8%)

対話前 目標設定

教育技術を積極的に活用し、効果的なオンライン教育スキルを向上させる。デジタルツールやプラットフォームを適切に統合して教育の質を向上させる。

(3) 対話:とても満足している / 実践:やや満足している (関連度:5.7%)

対話前 目標設定

④ 教育法や心理学の最新の知識を継続的に学び、教育プロセスを最適化する。生徒の学習ニーズに合わせたアプローチを採用する。

対話後 目標設定

最新の情報を統合し、教科内容を深化。異文化理解を育み、国際的な視野を広げる教育を実践する。

対話後 目標設定

教育技術を積極的に活用し、効果的なオンライン教育スキルを向上させる。デジタルツールやプラットフォームを適切に統合して教育の質を向上させる。さらには、優れたコミュニケーションスキルを養い、保護者や生徒との協力関係を築く。オープンで透明性のあるコミュニケーションを重視する。

対話後 目標設定

教育法や心理学の最新の知識を継続的に学び、教育プロセスを最適化する。生徒の学習ニーズに合わせたアプローチを採用する。加えて、教育プログラムに国際的な要素を組み込み、生徒に異なる文化や視点を理解させる。異文化コミュニケーションスキルを育む。

目標設定一覧

⑦ 資質・能力欄には [習得状況 / 実践状況] が表示されます。

年度	キャリアステージ	授業力・学習指導	担任力・生徒指導	特別支援の充実	ICTの活用	対話前目標設定	対話後目標設定	対話満足度	実践内容	実践満足度
2018	基盤形成期	3.2 / 3.5	2.8 / 3.7	4.5 / 4.0	1.7 / 3.3	生徒の学習成果向上: 生徒たちが授業で理解を深め、目標を達成できるように、教育方法や教材の工夫を行う。	自己研鑽とプロフェッショナル・ディベロップメント: 自らの専門知識や教育スキルを向上させ、最新の教育トレンドや研究結果に基づいて授業内容やアプローチを更新する。	5	個別対応の強化: 生徒一人ひとりのニーズや学習スタイルに応じて、授業内容やサポートの提供方法を柔軟に調整し、全生徒に平等な機会を提供する。	4
2019	基盤形成期	2.8 / 3.0	2.3 / 3.5	4.5 / 2.0	2.0 / 3.0	新しい教育技術の導入: 最新の教育技術やツールを積極的に導入し、生徒たちがテクノロジーを活用して効果的に学べるようにする。	自己研鑽とプロフェッショナル・ディベロップメント: 自らの専門知識や教育スキルを向上させ、最新の教育トレンドや研究結果に基づいて授業内容やアプローチを更新する。	3	職業倫理と教育倫理に基づき、模範となる教育者としての責任を果たす。倫理的な指導と態度を示し、生徒に良い影響を与える。	2

画面概要

担当教員一覧画面で目標設定列のリンクをクリックしたときに表示されます。

担当教員の目標設定の確認だけでなく、お薦め(※)の目標設定内容や、担当教員の過去5年分の目標設定の一覧が確認できます。

※担当教員の校種やキャリアステージと同じ教員の目標設定で、

自己評価アンケート結果と相関度が高く、

かつ、対話満足度や実践満足度が高かった目標設定がお薦めされます。

19 / 25

操作説明

- ① 目標設定の対象年度を選択することができます。
年度を変更すると、過去の目標設定を確認することができます。
- ② 担当教員の対話前目標設定の内容が確認できます。編集はできません。
- ③ お薦めの目標設定が最大3つまで表示されます。
 - ・お薦めの目標設定がない場合は、「なし」と表示されます。
 - ・お薦めの目標設定は夜間に分析され、それまでは「分析中」と表示されます。
- ④ 担当教員の過去5年分の目標設定の一覧が表示されます。
- ⑤ [アンケート] のリンクをクリックすると、アンケート画面に遷移します。
- ⑥ [対話後 目標設定] のリンクをクリックすると、対話後目標設定画面に遷移します。

8.9. 対話後目標設定画面（管理者向け）

≡ 教員目標設定支援システム 鳴門 太郎

<< [対話前 目標設定](#) 対話後 目標設定(担当教員:徳島 花子) [実践内容](#) >>

年度

対話前 目標設定
急速に進化する教育技術のトレンドを把握し、適切に取り入れる。生徒のデジタルリテラシーを向上させ、未来のスキルに備える。
59/1000

対話後 目標設定
急速に進化する教育技術のトレンドを把握し、適切に取り入れる。生徒のデジタルリテラシーを向上させ、未来のスキルに備える。さらには、自己評価を行い、持続的な専門成長にコミット。継続的な学習と研究を通じて、教育の最新動向に適応し続ける。
115/1000

対話満足度 とても満足している やや満足している どちらともいえない あまり満足していない まったく満足していない

対話結果
最近では ChatGPT 等を利用した教育方法も考えられますね。
31/1000

画面概要

管理者向けの対話前目標設定画面で [対話後 目標設定] のリンクをクリックしたときに表示されます。担当教員との面談(対話)後に、対話結果を入力することができます。

操作説明

- ① 目標設定の対象年度を選択することができます。
年度を変更すると、過去の目標設定を確認することができます。
- ② 担当教員の対話前目標設定や対話後目標設定、対話満足度の内容が確認できます。
編集はできません。
- ③ 担当教員との対話結果を入力することができます。
- ④ [保存] ボタンで、対話結果を保存することができます。
- ⑤ [対話前 目標設定] のリンクをクリックすると、対話前目標設定画面に遷移します。
- ⑥ [実践内容] のリンクをクリックすると、実践内容画面に遷移します。

8.10. 実践内容画面（管理者向け）

≡ 教員目標設定支援システム 鳴門 太郎

<< **対話後 目標設定** 実践内容(担当教員:徳島 花子)

年度

実践内容

実践満足度 とても満足している やや満足している どちらともいえない あまり満足していない まったく満足していない

対話結果

画面概要

担当教員一覧画面で実践内容列のリンクをクリックしたときに表示されます。

担当教員との面談(対話)後に、対話結果を入力することができます。

操作説明

- ① 目標設定の対象年度を選択することができます。
年度を変更すると、過去の実践内容を確認することができます。
- ② 担当教員の実践内容や実践満足度の内容が確認できます。編集はできません。
- ③ 担当教員との対話結果を入力することができます。
- ④ [保存] ボタンで、対話結果を保存することができます。
- ⑤ [対話後 目標設定] のリンクをクリックすると、対話後目標設定画面に遷移します。

8.11. 異動画面

≡ 教員目標設定支援システム 鳴門 太郎

異動

① 異動により、メールアドレスが変更になる場合、
今までの目標設定等のデータを引き継ぐために、実行してください。

現在 masafumi.hara@arithmer.co.jp

異動後

実行

画面概要

異動にともない、メールアドレスが変更になる場合に、
今までの目標設定のデータを引き継ぐために実行することができます。

操作説明

- ① 異動後のメールアドレスを入力します。
- ② [実行] ボタンを押下して、目標設定データを引き継ぎます。
※実行後はログアウトして、異動後のメールアドレスでログインするようにしてください。

補足事項

- ・異動後は、ユーザ設定画面にて異動先の管理者（校長先生）のメールアドレスを入力してください。

8.12. ユーザ設定画面

画面概要

ユーザの校種やキャリアステージなどを入力することができます。

また、自身の管理者のメールアドレスを入力して、管理者との紐づけが設定できます。

操作説明

- ① 校種を入力します。
- ② 当該校への着任年度を入力します。
- ③ 校務分掌を入力します。
- ④ キャリアステージを入力します。
- ⑤ 自身の管理者のメールアドレスを入力します。
- ⑥ [設定] ボタンを押下することで、設定した内容でユーザ情報が反映されます。

補足事項

- ・異動により管理者が変更になった場合は、[管理者] のメールアドレスを再設定してください。
- ・管理者の方は、キャリアステージには「熟達期」を選択してください。
- ・管理者の方は、[管理者] の欄にメールアドレスを入力する必要はありません。

8.13. ログアウト

本システムからログアウトできます。